

へんしも情報

Contents

- 1 Close Up! ものづくり(株式会社 アッシェ)
- 3 令和8年度 通常総会を開催
- 5 外国人技能実習制度適正化講習会のご案内
- 6 ものづくり担い手育成研修のご案内(機械保全技術、製図)
- 7 ものLABOレポート
- 8 中央会青年部情報“雄飛”(通常総会報告)
- 9 高知県からのお知らせ(元気な未来創造課)
- 10 高知市からのお知らせ(木材産業振興課)
- 11 組合いんふおめーしょん
- 13 県内各業界の動向(2026年5月)

つな
人を継ぎ、組織を育む 高知県中小企業団体中央会
TEL : 088-845-8870 E-mail : info@kbiz.or.jp

ウエブでも
へんしも!

これまでの記事は
こちらから

HP: <https://www.kbiz.or.jp/>



SIB : MOGNNY & IMPACT AX



日本全国に
拡大中! //



30 都道府県
24 企業
524 店舗

楽しみながら気がつけば自然と食品ロス削減!

もぐもぐチャレンジとは?

賞味期限・消費期限が近い商品にもぐもぐシールを貼り、シールを目印としてお客様に商品を購入してもらうことで、本来売れ残り捨てられるはずだった商品を「楽しみながら」減らしていくことができる仕組みが「もぐもぐチャレンジ」。

行動経済学のナッジを活用し、「お得だから買う」から「食品ロス削減に参加する」へ購買行動の転換をやさしく後押しします。



ものづくり補助金
採択企業の紹介



ものづくり補助金はサービス業も活用できます！

株式会社 アツシエ

事業類型 特別枠 (非対面型ビジネスモデルへの転換)

事業分野 新役務(サービス)の開発

令和元年度
補正
3次

食品ロス削減のための データ共有パッケージの構築

事業計画
概要

当社では、2019年2月より、食品ロス削減事業「もぐもぐチャレンジ」に取り組んでいます。本事業は、消費者が楽しみながら食品ロス削減に参加できるプロジェクトです。食品ロス削減データの蓄積・共有を可能とするオンラインシステムと専用アプリを構築・導入することで、パッケージの訴求力向上と効率的な運用を可能とします。

事業取り組みの経緯

食品ロス削減事業「もぐもぐチャレンジ」は、2018年の恵方巻き大量廃棄問題をきっかけに始まったプロジェクトです。スーパーでは従来、毎朝食品を廃棄してから営業を始めるのが通例で、廃棄・値引きロスは売上の6%を占めるといわれています。



▲イメージキャラクター「もぐにい」

また、環境への負荷から、近年食品ロスは大きな社会課題にもなっています。

株式会社サニーマートの協力のもとスタートした同事業は、消費期限・賞味期限が近い商品に、当社発案のマスコット「もぐにい」を描いた「もぐもぐシール」を貼り、消費者にその商品を先に購入してもらう取り組みです。消費者はシールを集め専用の台紙に貼って店舗に提出することで抽選や寄付ができ、楽しみながら参加できます。

一方、企業にとっては食品ロスの削減を通して営業利益の向上が実現できます。また環境負荷軽減という点では、社会課題の解決にも貢献できるプロジェクトです。



社会課題解決

お客様に積極的に商品を手前から商品をお取りいただくことで食品の廃棄が減少し環境負荷を軽減します。

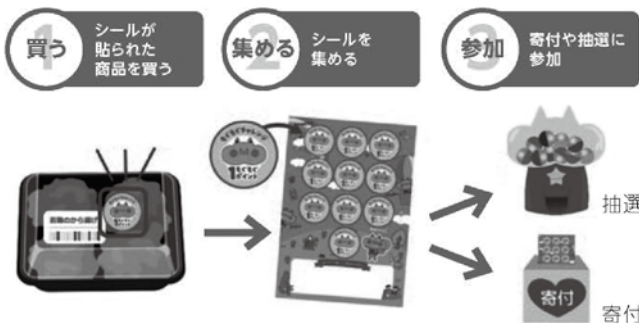
楽しみながら社会貢献

シール集めを楽しみながら参加していただくことで食品ロス削減につながります。

企業価値向上

お店への愛着・社会貢献で意識が変容し、来店促進を促します。値引き・廃棄ロスの削減を通じ、営業利益の向上を実現します。

同事業は、30都道府県24企業524店舗(2026年5月末現在)で導入されています。全国に販路を拡大できましたが、各店舗のシール回収枚数を当社が集計・管理していたため、作業の効率化が課題でした。加えて、値引き・廃棄ロスの削減推移や成果など客観的な数値データが不足しており、新規販路開拓の課題となっていました。また当社営業社員が定期的導入店舗を訪問し、削減ノウハウ等の情報を提供していましたが、コロナ禍により店舗訪問が困難となり、遠隔かつ非対面で情報提供を行う仕組みの構築が求められていました。



実施内容

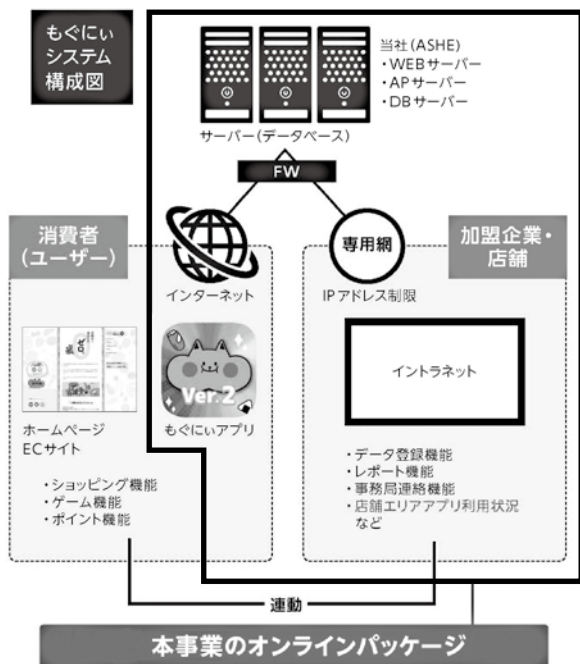
オンラインシステムはクラウド型サイトです。加盟企業は管理部署用アカウントで参加店舗を管理し、各店舗は、もぐもぐシールの使用枚数や回収枚数を入力します。

消費者はアプリによって「もぐもぐチャレンジ」に参加できるほか、ホームページやECサイトの閲覧も可能となります。システム及びアプリの管理は、当社内にあるもぐにい事務局にて行います。

【代表取締役】須江 勇介氏 【所在地】高知市新本町2-4-3 blissビル
 【TEL】088-819-2661 【FAX】088-803-7106
 【URL】https://ashe.co.jp
 【設立】2005年(平成17年)9月28日 【従業員】15名
 【資本金】300万円 【主たる業種】デジタルマーケティング業
 【企業概要】Webサイト・動画制作等のブランディングをはじめ、
 デジタルマーケティング、DXソリューション、食品ロス削減事業を手掛ける。



事業取り組みの成果



オンラインシステムにより、各店舗がシールの使用枚数、回収枚数、台紙の回収枚数を入力でき、各店舗の活動の推移やシールの回収率が可視化されました。これにより当社にとっては、従来行っていた集計作業の負担が軽減されました。また、全国および地域特性による企画の効果も測定できるようになっています。加盟企業は、自社の店舗がシールをどの程度貼っているのか、どの程度回収できているのか、店舗ごとのリアルタイムの状況が把握できるようになり、実績も比較できるほか、データ分析も可能となりました。また、他社店舗との実績も比較できるため、食品ロス削減に向けスピーディに改善指導が行えるようになりました。

非対面での情報提供については、オンラインで事務局から加盟店舗にデータ提供やグッズ販売等の営業を行うことができ、営業負担が軽減されました。

オンライン説明会では、「もぐもぐチャレンジ」をスムーズに進めるためのノウハウも説明しています。導入企業が新規店舗を追加する際、事業概要から運用方法などを相談・確認できる環境を準備することにより、当社営業社員が訪問してレクチャーしていた現状を効率化し、今後はさらなる非対面ビジネスモデルへの転換を実現していきます。

ノウハウ提供に加え、同システムでは、導入企業同士が参加できるコミュニティサロンを開設しています。サロン活用により、加盟企業は食品ロスの削減率を高めるためのノウハウを共有することができます。

アプリに関しては、消費者に対してもぐもぐチャレンジへの取り組みを促進できました。消費者はシールを貼った台紙を各店舗のサービスカウンターに持参するとポイント読み取りカードを受け取ることができ、ポイントを貯めるとプレゼントと交換できるほか、アプリを通して抽選に参加すると、選択した寄付先に寄付ができるなど、気軽に社会貢献ができます。さらにミニゲームや店舗からのお得な情報配信等もあり、アプリを通して食品ロス削減問題を身近に感じていただけるようになりました。また、もぐもぐチャレンジ全体の活性化と継続性も高めることができました。

製品内容



▲システムの管理画面



▲もぐにいアプリ

- ▶もぐにいグッズ
- ・かるた
 - ・絵本
 - ・ぬいぐるみ



今後の活動予定・販売計画

オンラインシステムの構築・導入により、食品ロス削減データを蓄積し共有することが可能となりました。結果、導入を検討している企業に対して事業の利点を明確に訴求できるようになり、新規販路の開拓が容易となりました。ターゲットユーザーは、日本全国のスーパーマーケットです。市場規模は、企業数が約1000社、店舗数は約2万店、売上は約30兆円です。

2017年全国スーパーマーケット協会資料によると、スーパーでの年間食品廃棄額の推計は5千億円以上です。当社の食品ロス削減事業「もぐもぐチャレンジ」は、口コミで広がるなどして導入店が毎年倍々増えており、導入企業からは「自分たちで仕組みを1から作らなくてよいので導入しやすい」「消費者の負担がなく、楽しく参加してもらえる」という声が上がっています。また廃棄や値引きに要した費用が大幅に削減できたという店舗もあります。今後も導入企業を増やしていき、社会貢献の側面も大きい当事業を発展させていきたいと考えています。

令和8年度通常総会を開催 —久松会長再任— 全議案原案どおり可決承認

本会では、去る6月19日(金)「城西館」で、令和8年度通常総会を開催しました。

当日は、本会会員353名(本人出席98名、委任状出席255名)が出席。久松会長が議長となり議案審議が行われ、第1号議案から第6号議案まで原案どおり可決承認されました。

第7号議案「会長、理事及び監事任期満了による改選の件」では、久松朋水氏が会長に再任されるとともに、新役員が選任されました。また、同日、令和8年度第2回理事会を開催し、副会長及び常任理事が選任されました。

なお、総会での決議議案並びに本年度の重点項目、選任された副会長及び常任理事、理事、監事は次のとおりです。

決議議案

- ◆第1号議案 令和7年度決算関係書類(事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案並びに特別会計運用状況等)承認の件
- ◆第2号議案 令和7年度共済制度特別会計決算関係書類(事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案)承認の件
- ◆第3号議案 令和8年度事業計画書並びに収支予算書決定の件
- ◆第4号議案 令和8年度共済制度特別会計事業計画書並びに収支予算書決定の件
- ◆第5号議案 借入金残高最高限度額決定の件
- ◆第6号議案 事業計画書、収支予算書等字句の修正及び流用又は追加更正について会長一任の件
- ◆第7号議案 会長、理事及び監事任期満了による改選の件

【令和8年度重点項目】

- ①会員組合等への情報提供並びに景況・課題等に対応した施策の要望・提言
- ②伴走型支援による組合等の事業強化並びに地域活性化の推進
- ③自然災害や感染症等の様々なリスク対策と事業継続力強化の推進
- ④デジタル化やDX活用等による生産性の向上と新事業進出の推進
- ⑤県内企業等の取組と連携した海外展開や外国人材の活用支援
- ⑥女性事業者の持続的発展に向けた支援の強化

総会終了後には、来賓を代表して吉田健一郎 四国経済産業局長(渡部修治 産業部長・代読)、明神健夫 高知県議会議長、桑名龍吾 高知市長(島崎春次 高知市商工振興部長・代読)より祝辞を賜りました。

また、総会後に開かれた懇親会では、濱田省司 高知県知事より来賓祝辞を賜ったあと、池田邦彦 高知労働局長の乾杯のご発声を皮切りに、和やかな雰囲気のもと参加者一同懇談・交流が行われ、今回の改選で副会長を勇退された吉村相談役の中締めで、午後7時30分に閉会となりました。



▲久松朋水会長



▲濱田省司 高知県知事



▲総会後の懇親会

正副会長紹介（順不同・敬称略）

会長



久松朋水
協同組合
高知機械工業団地

副会長



藤本正孝
高知県旅館ホテル
生活衛生同業組合

副会長



廣末幸彦
高知県商店街
振興組合連合会

副会長



橋本順子
高知県中小企業
振興協同組合

副会長



金谷光人
中村地区
建設協同組合

副会長



北岡幸一
協同組合
丸和木材

新役員（50音順・敬称略）

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
常任理事	池澤啓輔	高知中央市場鮮魚買受人協同組合	理事	明石健市	高知市ハイヤー協同組合
	今西博	高知卸商センター協同組合		秋波浩一	高知県室内装飾事業協同組合
	内田莊一郎	高知県塗料商業協同組合		大勝敬文	高知県手すき和紙協同組合
	梅原朗	高知県菓子工業組合		岡崎恒之	高知市管工事設備業協同組合
	大原和雄	高知県電機商業組合		岡田忠明	高知県中小企業団体中央会
	尾崎徳七	協同組合高知県木材工業団地連盟		刈谷雅臣	高知県テント・シート工業組合
	北岡邦夫	事業協同組合高知総合輸送センター		川井博貴	高知県素材生産業協同組合連合会
	楠淳一	高知県印刷工業組合		川上和孝	高知県砕石工業組合
	國藤浩史	高知県建設業協同組合		木村浩二	高知県クリーニング生活衛生同業組合
	公文日出生	宿毛建設資源利用協同組合		坂本重法	高知県外国人技能実習生受入組合連絡協議会
	坂本正興	協同組合テクノ高知		武井勝一	高知県石油業協同組合
	高木直之	高知県酒造組合		田中隆博	大正町市場協同組合
	高橋佳久	高知県コンクリート製品工業組合		谷脇良枝	企業組合せいらん
	竹内泰介	高知県中小企業青年中央会		田村紘	全高知珊瑚協同組合連合会
	竹村真一	幡多建築業協同組合		所紀光	企業組合宇佐もん工房
	棚野愛一郎	高知県電気工事業工業組合		穂岐山信介	高知県土佐刃物連合協同組合
	戸田実知子	高知ものづくりLABO		三木康弘	高知県中央木材工業団地協同組合
	友永幸雄	高知県化粧品小売協同組合		榊原英之	高知県造船工業協同組合
	早川賢治	高知市商店街振興組合連合会		山崎浩司	高知青果商業協同組合
	前田和彦	高知県食品工業団地事業協同組合	監事	植野陽雄	高知県火災共済協同組合
森澤正博	一般社団法人高知県製紙工業会	長山和幸		梶原町商工振興協同組合	
柳原克行	高知県建具協同組合	西村悦一		こうちIT事業者協同組合	
山中伯	高知県生コンクリート工業組合				
	山本佳和	高知県木材協同組合			
	横山英生	土佐信用組合			
	吉澤文治郎	四国地区中小乳業協同組合			

外国人技能実習制度適正化講習会のご案内

参加者募集!
無料

新制度「育成就労制度」徹底解説

～受入企業と監理団体が取り組む運用のポイント～

外国人労働者の受け入れに関する新たな制度「育成就労制度」が来年から施行されるのを受けて、育成就労制度のポイントや監理団体・受入事業者が準備すべき具体的アクションについてお伝えします。

- ✓ 育成就労制度の内容に不安を持っている方
 - ✓ 外国人材受け入れを検討している事業者の方
- 皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

プログラム

14時 講習会

新制度「育成就労制度」徹底解説～受入企業と監理団体が取り組む運用のポイント～

講師：公益財団法人 国際人材協力機構 **JITCO**

高松駐在所所長 田井 慎二 氏

15時 質疑応答

15時半 閉会

開催日時 **8月5日(水) 14時～15時30分**

申込締切 **7月31日(金)**

開催場所 **セリーズ(高知市高須砂地155番地)**

申込方法 **二次元コードからお申し込みください**

定員 **50名** (※先着順)

申込先 URL: <https://www.kbiz.or.jp/2026-seminar1/>

申込サイト



後援: 高知県・高知銀行・あいおいニッセイ同和損害保険(株)高知支店

<担当> 連携推進部 高瀬

武田



高知県中央会HPでも「へんしも情報」が読めます!



スマホでも

組合員への共有も、URLや二次元コードを送るだけで楽々!



PCでも



バックナンバーも掲載!

(二次元コード)

▼HPからのチェックはこちらから
<https://www.kbiz.or.jp/henshimo>
高知県中央会ホームページにアクセスして【中央会情報誌「へんしも情報」】のバナーからご覧になれます!



お客さまの笑顔の花を咲かせるしごとです。

お金のこと、経営のことにほかに、デジタル化の推進や事業承継など、さまざまな経営課題に対してその道のプロフェッショナルが解決策を提案します。信用保証協会では、経営の「今」を全力でサポートします。

高知県信用保証協会

〒780-0901 高知市上町3丁目13番14号
TEL 088-832-3261 FAX088-822-7069
URL <http://www.kochi-cgc.or.jp/>

.com BANK | 未|来|フ|ア|ク|ト|リ|ー |

お客様のより良い未来を創造する「未来ファクトリー」。
ソーシャルインフラを創造する「未来ファクトリー」。
県民の方々の幸せな暮らしや事業、安全・安心にお応えできる金融サービスをお届けします。

高知信用金庫

ドットコムバンク 検索

ものづくりの基盤技術強化を図る研修会のご案内

—令和8年度ものづくり担い手育成事業—

参加者募集!
無料

▶初学者のための機械保全技術研修 「イチから学ぶ機械保全技術」

開催日時 **8月5日(水)~8月6日(木) 9時~17時30分**

開催場所 **高知職業能力開発短期大学校 (香南市野市町西野 1595-1)**

概要 生産設備の保全作業に必要な幅広い知識及び技能の習得を目標として、座学を中心とした初学者向け講義です。機械保全に関する技能検定の受験対策にも生かせる内容となっております。

定員 **50名** (※先着順)

申込締切 **7月24日(金)**

申込先 URL : <https://forms.gle/jrhGP9tfzGfzU7LB9>



<担当> 連携推進部 高瀬



▶製図の見方・読図能力向上研修

開催日時 **9月16日(水)~9月17日(木) 9時~17時**

開催場所 **高知県中央会 研修室 (高知市布師田 3992-2)**

概要 製図に関する基本的な技術及び知識の習得を図るとともに、機械加工従事者が加工効率の視点から設計者へ提案できる力の養成を目指し、事例を交えて研修を行います。

定員 **30名** (※先着順)

申込締切 **8月31日(月)**

申込先 URL : <https://forms.gle/6kBbdTrjDrw4rw8f6>



<担当> 連携推進部 小澤



メリット
1 **高めの金利設定**
※当金庫内比較

メリット
2 **固定金利の
半年複利**

メリット
3 **選べる期間
1年・2年・3年**

定期預金

個人のお客さま向けの

マイハーベスト



人を思う。未来を思う。

商工中金 高知支店 **088(822)4481** 〒780-0870 高知市本町 4-2-46

ものLABOレポート

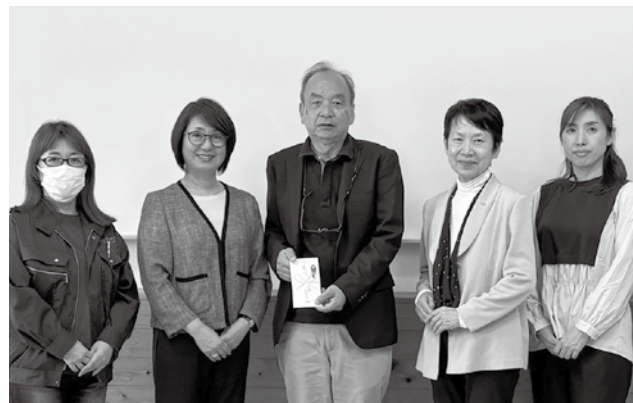
(高知ものづくりLABO)

チャリティーゴルフコンペの寄付金を児童養護施設へ贈呈

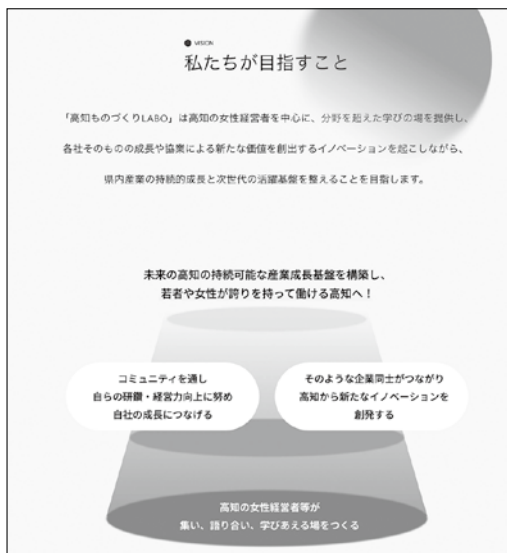
会員企業や関係企業等との交流促進と地域社会への貢献を目的に、昨年11月22日(土)に「第3回チャリティーゴルフコンペ」を開催いたしました。当日は多くの皆様のご協力のもと盛況のうちに終えることができ、参加者の皆様からは地域の子どもたちを支援するための温かいご寄付金をいただきました。

このたび、皆様からお寄せいただいた大切な寄付金を届けるため、5月26日(火)に香南市の児童養護施設「愛童園」にて贈呈式を執り行いました。

今回の寄付金が、施設で生活する子どもたちの健やかな成長や日々の生活の一助となることを願うとともに、当団体では今後も地域とのつながりを大切に、社会貢献活動を継続してまいります。



公式ホームページを開設しました



6月24日(水)に公式ホームページを開設しました。

当団体は、戸田実知子会長(有限会社戸田商行 代表取締役)をはじめとする設立発起人一同が中心となり、ものづくり補助金の採択事業者である女性経営者等を構成員として設立されました。分野を超えた学びの場を提供し、各社の成長や協業によるイノベーションの創出、さらには県内産業の持続的成長と次世代の活躍につながる環境を整えることを目指して活動しています。

今回開設したホームページでは、団体の概要や活動内容、会員企業の紹介をはじめ、各種イベントや活動報告などを掲載しています。新たな連携や協業の創出につながる情報発信の場として、広く活用していきます。

今後も、県内産業の持続的な発展と地域の活性化、そして次世代の活躍基盤を整えるための活動を、会員企業とともに展開していきます。

- ホームページURL
<https://kochimonolabo.com>



令和8年度 高知県中小企業青年中央会通常総会報告

－ 新体制のもと邁進してまいりますので、一層のご協力をお願い申し上げます －

5月19日(火)、「城西館」で、令和8年度高知県中小企業青年中央会通常総会を開催しました。

午後5時より始まった会では、安宅会長が議長となり、第1号議案「令和7年度事業報告、収支決算並びに剰余金処分案承認の件」、第2号議案「令和8年度事業計画並びに収支予算案決定の件」が審議され、それぞれ原案通り承認されました。

第3号議案「役員改選の件」では、指名推選による新役員の選出が行われ、選出された全役員は満場一致で承認されました。また、同日、理事会において、竹内新会長をはじめ、4名の副会長が就任されました。



▲総会風景



竹内会長

このたび、令和8年度通常総会において、高知県中小企業青年中央会の会長を拝命いたしました。責任の重さを感じるとともに、身の引き締まる思いです。

中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いていますが、青年経営者が互いに学び、支え合いながら成長できる場づくりに努めてまいります。

会員の皆様をはじめ、関係機関の皆様とのつながりを大切に、本会のさらなる発展に向けて全力で取り組んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

午後6時30分からの懇親会では、高知県商工労働部 大原英樹部長よりご祝辞を賜り、続いて、島崎春次 高知市商工振興部長(松尾大樹 高知市商工振興副部長・代読)の祝辞を披露いただいた後、当会 久松朋水会長の乾杯の発声により開宴しました。終始和やかな雰囲気の中、出席者一同、親睦と交流が深められ、午後8時30分に商工組合中央金庫高知支店 菊島太郎支店長の中締めをもって閉会しました。

なお、新役員は下記の通りです。

新 役 員

(順不同、敬称略)

【会長】

高知県屋外広告美術協同組合 竹内 泰介

【副会長】

四万十市商店街振興組合連合会	野元 亮佑	高知県手すき和紙協同組合	濱田 治
こうちIT事業者協同組合	孝橋 直弥	高知中央電気工業協同組合	片岡 祥太

【理事】

高知市管工事設備業協同組合	安宅 弘明	高知市管工事設備業協同組合	小松 雅広
一般社団法人高知県トラック協会	田内 敬太	一般社団法人高知ビルメンテナンス協会	川本 泰成
一般社団法人高知県工業会	清藤 貴子	一般社団法人高知県LPガス協会	春田 岳洋
高知県旅館・ホテル生活衛生同業組合	山本 祥平	高知県中古自動車販売商工組合	山本 健斗
事業協同組合高知総合輸送センター	北岡 久志		

【監事】

高知県印刷工業組合	永野 正将	協同組合帯屋町筋	堅田 佳嗣
-----------	-------	----------	-------

申請受付中 **令和8年度事業 こうち男性育休推進企業奨励金**

公募期間
令和8年4月20日
～令和9年2月19日

※上記に関わらず、予算の執行状況により受付を終了させていただく場合がございます。

中小企業、個人事業主の皆さまへ!

男性育休の取得促進に向けて、生産性向上と働き方改革に取り組む県内中小企業等を支援します。

奨励金最大 **300万円**

この事業は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しています。

募集区分	男性育休チャレンジコース	男性育休取得促進コース
対象事業者	常時雇用する従業員数が300人以下の法人又は個人事業主(高知県内に本社又は事業所を有する事業者)	
交付要件	①こうち男性育休推進企業への登録・更新 ②実践交流会へ参加していること ③生産性向上と働き方改革につながる取組の実践	①こうち男性育休推進企業への登録・更新 ②令和8年2月1日以降にのべ29日以上男性育休取得者がいること ③生産性向上と働き方改革につながる取組の実践※
奨励金額	30万円(先着500社)	100万円 加算となる取組により最大 300万円
加算となる取組		生産性向上と働き方改革につながる取組の実践 追加1項目あたり50万円加算(最大4項目)

男性育休チャレンジコースと男性育休取得促進コースの併用はできません。

※生産性向上と働き方改革に繋がる取組の実践項目:①業務標準化、②チームでの業務引継体制整備、③業務プロセスの見直し、④代替要員の確保、⑤応援手当支給等(職場環境整備を含む)

こうち男性育休推進企業の登録

1,641社登録(令和8年5月末時点)

奨励金の申請には、こうち男性育休推進企業への登録又は更新(令和7年度実績の登録)※が必要です。登録後、特設サイトへの情報掲載までに1週間程度かかりますので、奨励金の申請をご検討の方は、お早めに登録(更新)手続きをお願いします。



こうち男性育休推進企業

※令和8年4月19日までに登録いただいた事業者につきましては、更新をお願いします。

登録要件

男性の育児休業について、次の3項目を公表可能な企業等
①直近3か年の事業年度における配偶者が出産した従業員数
②①のうち育休を取得した従業員数 ③平均育休取得日数
(男性育休の対象者がいない企業等も登録可能)

登録方法

右記の二次元コード又は以下の登録申請フォームからご入力ください。
https://www.pref.kochi.lg.jp/form/080901/dansei_ikukyu/



実践交流会

奨励金の「男性育休チャレンジコース」の申請には、下記のいずれかの実践交流会に1回参加することが要件です。

全10回開催

企業向け実践交流会

対象:経営層や総務・人事労務対象者など 定員:60社程度 ※先着順

男性育休の取得促進に向けて、生産性向上と働き方改革につながる職場づくりに取り組む企業が集まり、成功事例だけでなく、悩みや試行錯誤も共有する実践型の異業種交流の場です。

- 第4回 2026年7月10日(金) 13:30~16:30 会場:四万十市 新ロイヤルホテル四万十
- 第5回 2026年7月22日(水) 13:00~16:00 会場:高知市 ちよテラホール **受付終了**
- 第6回 2026年8月24日(月) 13:30~16:30 会場:高知市 ちよテラホール
- 第7回 2026年9月16日(水) 13:00~16:00 会場:高知市 ちよテラホール

全3回開催

男性向け実践交流会

対象:男性の経営者・従業員 定員:50社程度 ※先着順

共働き・共育ての実践に向けて、家事や育児における男女間の分担について意見交換を行うほか、職場にも生かせる家事スキルも学ぶことができる場です。

- 第1回 2026年7月10日(金) 10:00~12:00 会場:四万十市 新ロイヤルホテル四万十
- 第2回 2026年8月24日(月) 10:00~12:00 会場:高知市 ちよテラホール

お問い合わせ先

こうち男性育休推進企業奨励金事務局
TEL:0120-199-128 E-mail:d199@kochi-ken.com



詳細はこちらから!最新情報を随時更新



木造・木質化と木製品購入費に関する補助金のご案内

随時受付中です！ 予算に達し次第締め切らせていただくこともありますので、お早めにお申し込みください

1 高知県木の香るまちづくり推進事業費補助金



	①木材活用施設等整備	②学校関連環境整備(市町村除く)
補助上限額	400万円(下限2万5千円)	400万円(下限2万5千円) (小・中学校の内外装木質化の上限は1,000万円)
補助率	1/2以内	
補助対象経費	県民の目に触れる機会が多い公的空間の 木質化及び木製品導入に係る経費	幼児・児童・生徒及び学生が利用する保育室、 教室等の木質化及び木製品の導入に係る経費
補助対象者	社会福祉法人、医療法人、財団法人、県内に 事務所を置く企業、団体等	社会福祉法人、学校法人、財団法人、保育施設、 教育施設等の設置者

2 高知県非住宅建築物木造化促進事業費補助金



補助対象事業			
事業区分	補助対象経費	補助上限額	補助率
[1] CLT等先進的木造建築物の設計等	・設計費 ・部材の性能試験に要する経費	500万円	1/2以内
[2] 非住宅木造建築物の設計等		500万円 (設計費のみの場合300万円)	
[3] 非住宅建築物の木造化・木質化	・木材購入費 ・プレカット費	400万円 (下限額50万円)	
[4] 軟弱地盤対策	基礎丸太杭購入費	50万円	

補助対象者	
事業区分	事業主体
[1] [2]	建築主、市町村(1事業主体当たり1施設まで)
[3] [4]	建築主(市町村を除く)

[1]~[3]は建築物木材利用促進協定、又は高知県環境不動産の認定を受ける場合に**上限200万円を加算**

お問い合わせ先 高知県林業振興・環境部 木材産業振興課(需要拡大担当)
TEL:088-821-4593 E-mail:030501@ken.pref.kochi.lg.jp



組合いんふおめーしょん

KUMIAI information

高知市商店街
振興組合連合会

KUMIAI
information

盆踊り大会を開催します！

高知市商店街振興組合連合会(早川賢治理事長)では、来る7月25日(土)、大旺新洋おまち多目的広場で盆踊り大会を初めて開催します。夏のひとときを、音楽に合わせてみんなで楽しく踊りながら過ごしませんか？

皆様お誘い合わせの上、ぜひお気軽にご参加ください！

- 日 時：7月25日(土)
 子どもの部：16時～17時
 大人の部：18時～20時

- 場 所：大旺新洋おまち多目的広場

お問い合わせ先 高知市商店街振興組合連合会
TEL:088-824-8830



防災フェスタを開催しました！

南国市土曜市協同組合(今田 尚理事長)では、5月16日(土)に「防災フェスタ」を開催しました。

当日は、陸上自衛隊高知駐屯地によるカレーの炊き出しや車両展示をはじめ、組合員による防災教室やペット防災教室、防災グッズの体験コーナーなどが実施され、家族連れを中心に多くの方が買い物や食事を楽しみながらイベントを満喫していました。

南国市土曜市は、毎週土曜日に開催されている50年以上の歴史を持つ朝市です。季節の野菜や果物をはじめ、しきびや植木、海産物、日用雑貨など幅広い商品が並びます。また、お惣菜やたこ焼きなど、その場で味わえるグルメも充実しています。

地域の魅力が詰まった土曜市へ、ぜひお越しください！



南国市土曜市協同組合

KUMIAI
information

南国市土曜市

- 住 所：高知県南国市大桶甲2028
- 開催日程：毎週土曜日
 4月～10月：7時30分～13時、11月～3月：8時～14時

飲 食料品メーカーの売り方・売場提案の ポイントセミナーを開催しました

高知県食品外販協同組合(町田直明理事長)では、去る5月29日(金)、高知県中央会研修室で、「飲食料品メーカーの売り方・売場提案のポイントセミナー」を開催し、組合役員及び組合員18名が参加しました。

当日は、株式会社せんだう専務取締役の寺田真二氏を講師に招き、原材料価格や物流費の高騰、円安といった厳しい市場環境に

対応するための売場づくりや販路開拓手法についてご講演いただきました。講義では、量販店バイヤーが重視する商品提案の考え方や試験販売を活用した具体的な販路開拓の手法をはじめ、若年層・ファミリー層をターゲットとした戦略の重要性が解説されました。

また、消費者の節約・品質志向の両立を見据えた商品展開として、地域性や生産者情報を活用した差別化の工夫、POPや二次元コードを用いた情報発信、さらには店舗運営の省エネ化や作業工程の見直しによる生産性向上の取り組み事例なども幅広く紹介されました。

本セミナーを通じて参加者は、量販店視点から見た「売れる商品」の特徴や売場提案の要点を体系的に学び、今後の経営改善や売上向上に直結する有意義な知見を得る機会となりました。



物 価高騰対策のため高付加価値パンの 商品開発・売上向上セミナーを開催しました

高知県製パン協同組合(山手淳理事長)では、去る6月7日(日)、RKC調理製菓専門学校で、「物価高騰対策のため高付加価値パンの商品開発・売上向上セミナー」を開催し、組合役員及び組合員18名が参加しました。

当日は、株式会社ぐるぐる代表取締役の栗原淳平氏を講師に招き、物価高騰下における高付加価値商品の開発や収益力向上の手法につい

てご講演いただきました。講義では、同社の代表商品であるクリームパンやカレーパン等の開発プロセスを例に、顧客視点で試作・改良を重ねる高付加価値化の手法をはじめ、地域食材を活かした地域ブランド構築の重要性が解説されました。

また、安定品質の維持と製造ロス削減に向けた工程管理の数値化(見える化)、冷凍技術を活用した遠方配送や催事販売による売上機会の創出、SNSを用いた効果的な情報発信まで、実践的な取り組みが多面的に紹介されました。

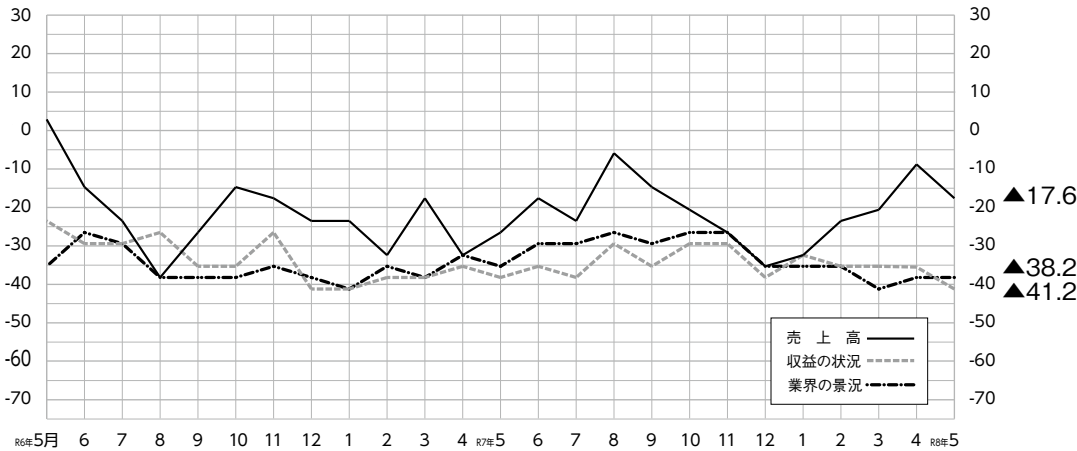
本セミナーを通じて参加者は、地域資源を活かした魅力やストーリーを商品に付加する差別化戦略の重要性を再認識し、今後の経営力強化や新たな商品開発につながる有意義な学びの場となりました。





情報連絡員報告

DI(景気動向指数)




業界の状況

- …好転
- …不変
- …悪化

なし

テントシート	原材料の高騰を販売価格への転嫁が出来つつあると思われるなか、本年2月1日より製品の値上げがあった。また中東情勢により原油・ナフサ価格の上昇および石油化学製品の供給環境の悪化の影響で、全製品の大幅な価格改定(6月1日より)があると思われる。販売価格への転換に厳しい状況が続くと思われる。
木製品素材生産	5月期の原木出材量は、先月と変わりなく入荷している状況。丸太価格については、依然として一部樹種(ヒノキ)で値下がりが続いている状況ではあるが、全体的にはほぼ横ばいで推移。6月に入り、高知県では梅雨入りもしたことから原木出材量は、多少減少してくるのではないかとと思われる。また、丸太価格については、製品の動きが相変わらず鈍いため、大きな変動は見込めない状況。
製紙(家庭紙)	紙製品全体として、販売金額は前年同月比で上回り、生産量は前年並みとなった。販売量は前月に続き下回った。また、品目別では、雑種紙が販売金額、販売量及び生産量ともに前年同月比で上回ったのに対し、衛生用紙は販売金額が前年同月比で上回ったが、販売量及び生産量ともに下回った。なお、中東情勢の緊迫化による重油価格高騰が、会員企業の経営に深刻な影響を及ぼしている。燃料重油の年間購入額は令和7年度と比較して大幅に増え、多くの企業が「かなりの影響あり」または「深刻な影響あり」の状況である。さらに、ナフサ関連包装材料についても仕入価格の上昇や供給不安が生じており、在庫不足を訴える企業も多い。
製紙(手すき和紙)	今月は決算期の企業もあり、動きが少なかった。緊張が高まる中東情勢やまだまだ収まらない物価高騰など、このまま長引けば、先行きは見通せない状況になる。
コンクリート製品	対前年比144.8%。新たに3組合員の加入により、前年度より出荷が多くなっている。前年度と比較すると公共事業費は横ばいであることから、組合員の増加によると分析している。また、中東情勢が不透明であり今後の資材調達に関して、業界への影響が懸念される。
刃物製造	受注残の品の入荷により、売上は前年をクリアできた。問合せ等は落ち着いている。
機械団地	中東情勢の悪化に伴う資材高騰や供給制限は継続している。そうした影響もあるのか、団地内の業況は横ばいの状況が続いている。
船舶製造	作動油類やその他副資材等の調達は現状落ち着いている。
珊瑚装飾品製造	5月度の取引額は、前年同月比で211%と前年を上回る結果となった。
青果卸売	5月の取扱高は組員全体で前年対比104.9%となった。4月に比べ、5月の取扱高は久しぶりに100%を上回ったが各社にばらつきもあり、まだ好調とは言い切れない。今年の1月から5月までの累計は96.6%となった。
生鮮魚介卸売	5月の取引高は前年比約93%となった。鮮魚の入荷量も減少している。スチロール箱などの資材が値上がりしている。カツオは順調に入荷している、美味しくなっている。
各種小売(四万十町)	5月の町内の景気動向は、物価高支援で四万十町が配布した家計応援商品券の利用が始まったことで上昇傾向にある。ただ、商品券による好況は一時的なものであり、その場を凌いだ後が怖い、と予断を許していない事業者の方が大半である。
電気機械器具小売	5月は全商品平均で前年並である。スタンダードタイプエアコン前年比で128%。4K8Kテレビ89.5%、ドラム式洗濯乾燥機97%、リフォーム全額で102%であった。

	中古自動車小売	市場相場は安定しているが、流通量の減少で注文車両等の仕入れが困難な場合がある。消費者動向は徐々に上向きになっており、幅広い年式並びに価格帯の注文や問い合わせが増加傾向にある。
	商店街(高知市)	5月の駐車場利用台数は、前年同月比102.6%となり、前年同月より755台増加した。あわせて、料金収入についても前年同月比100.5%となり、前年同月より52千円の増収となった。また、人流カメラによる集計では、5月の来街者数は前年同月比0.4%増となった。特に、5月3日から5日に開催された「こうち春花まつり2026」期間中は、全地点で人出が大きく増加した。なかでも5月4日は月内最大の来街者数を記録し、商店街各所への回遊にも大きく波及した。さらに、5月はクルーズ船の寄港が5隻あり、昼間時間帯における中心市街地への回遊を後押ししたものと考えられる。
	旅館・ホテル	宿泊は昨年と同等に集客できた。ゴールデンウィークは日並びが悪く、収益が伸びなかった。6月は例年オフシーズンにあたるため、今年も集客に苦戦しそうな見込み。
	旅行業	組合クーポン前年同月対比29%、全旅クーポン合算後54%。前年と比較し、売り上げは大きく落ち込んだ。修学旅行関連の実施時期の変更が影響している見通しである。
	IT事業	今月の売上は前年とほとんど変わらない結果となった。年度末需要が落ち着きを見せ、3~4月と比べると、例年売上高が下がる傾向にある。6月以降は大型案件を受注できるよう提案活動の強化に邁進していきたい。
	一般土木建築工事	資材高騰により収益率が下降してきている。
	電気工事	組合員の施工する電力引込線工事量は、前年同月比97.7%となった。各地区で増減があったものの、全体としては、同年同様となった。
	タクシー	実働1日1車当りの前年同月対比運送収入:102.8%、回数101.9%、実働率:50.5%。令和8年3月初めに運賃改正のための要請書が提出され、5月末には、全事業者(車両の50%)の50%が改正を希望したため、今後運輸局が次の段階に入り順調に進めば年内に認可になると思われる。利用される方には物価上昇の折、またかと思われるだろうが、労働者の条件の改善を含めご理解いただきたいと思う。ご存知の通り、運転者不足で600台の車の半数しか稼働していない。

	食品団地	取引条件の悪化など、景況は全体的に下降傾向にある。ナフサ不足がより深刻化する中、資材等の調達に苦慮しており、包材の入荷が滞り一部の商品の生産を停止する事業者も出てきている。エネルギーや仕入れ価格の高騰により、販売価格への転嫁など経営戦略を見直す事業者も見られる。
	酒類製造	米価は高値圏ながらも一部で軟化の動きが見られ、製造コスト面では改善への期待が高まっている。しかしながら、主食用米との競合等により酒米の生産基盤は厳しさを増しており、原料米の安定調達は引き続き課題となっている。販売面では、物価上昇や価格改定の影響から消費動向に慎重さが見られ、低価格帯のみならず中高価格帯の商品にも販売減少の傾向が広がっている。一方で、輸出は引き続き好調を維持している。
	製材	資材の供給不足が更に景況感を悪化させるとの声が多い。
	建具	ナフサ不足の影響だと思うが、アクリル・樹脂板が品薄になっており、値段も2~3割上がって非常に心配である。なぜか建具金物も値上げが続いている。早く値上げが終わってほしい。
	印刷	売上大幅減、操業度大幅低下。共に厳しい状況。県内は官公需、民需とも低迷。県外需要も一部の業種が低迷、他業種で一部好調な部分も見られたが全般に非常に厳しい状況となった。ただ今後の動きとしてよさこい高知文化祭2026の特需の話も出ておりこれに期待したい。
	生コンクリート製造	5月度の組合員工場の出荷量は対前年比75.8%であった。また、4月からの累計も75.1%で減少傾向が続いている。地域的には、東部、嶺北、高幡地区の減少が顕著である。
	卸団地	段階的な値上げ実施に伴い、売上額は上昇傾向にあるが、同様に総経費も大幅上昇しており、さらなる価格転嫁は必須。今後は、付加価値やサービス等、価格に見合う価値が問われる。景気回復は感じられない。仕入商品の値上がりが続くものの、販売価格に十分転嫁できない。
	ガソリンスタンド	暫定税率廃止後のガソリン税は28.7円/Lとなっている。そして5月27日現在の国からの補助金は37.2円/Lとなっているが、政府は現行の指標であるブレンド原油からドライ原油に切り替えを行うとされており、そうなれば原油価格が高騰することが考えられる。しかし、今のところ市況は170円を超せばその分補助がでるので市況には大きな影響はないと思われる。ただし政府の予算がいつまでもつかかわからない。もしかすれば平均小売価格の170円が上がることになるかもしれない。
	商店街(安芸市)	中東情勢の影響もあってか、物価高が続き消費者の購買意欲の低下を感じる。
	商店街(四万十市)	前年と比べほぼ同水準だった。少し減少傾向にあるように感じる。ホルムズ海峡の閉鎖によって資材の高騰、不足が現れだしている。
	飲食店	売上高は前年同月程度ながら、販売価格の上昇分と売上個数の低下分で釣り合っており、集客は前年同月を下回る。加えて物価高に業界の価格転嫁は追い付いておらず、収益は相当悪化している。前年度同月に比べ更に物価は高騰。光熱費、仕入れ価格、人件費、すべての経費が上昇しているが、顧客離れによる集客の低下の懸念から業界の価格転嫁は十分ではない。
	クリーニング	5月は最繁忙期であるが、消費者の節約志向は続いており、点数減になっている。エネルギー高、資材高が続いており、特に資材の価格アップ率が大きい。価格改定を行った店舗も一定数あるが、利益圧迫している。包装材料は出荷制限が続いており、手元の在庫が切れる秋以降の供給を心配する声が届いている。
	一般貨物自動車運送	中東情勢は解決の目途がつかない状態で、石油製品への影響は大きくなっており、石油関連商品の輸送量も減少しつつある。燃料価格も補助金の目減りにより3円前後の値上げとなり組合員企業の経営を圧迫している。

経営者・役員・従業員とそ のご家族の 安心の保障を準備する ために 中央会の共済制度を ご活用ください。

BEST PARTNER
大樹生命



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障

団体扱生命保険

団体扱* (月払) の場合、
一般扱 (口座振替月払等) で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクに
対してお役に立つ保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社



- * 団体扱とは、高知県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。
- * 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。
- * 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-約款」および高知県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の代理店・扱者として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 高知営業部

〒780-0053 高知県高知市駅前町 1-8 第7駅前観光ビル 2F TEL:088-882-3402
<https://www.taiju-life.co.jp/>

大樹-KB-2023-432 (損保)A-2023-112 (2023.9)
R-2023-1009 (2023.9)

制作
発行



つな
人を継ぎ、組織を育む

高知県中小企業団体中央会

*組合等活性化情報誌「へんしも情報」は、環境に配慮した植物性インキを使用しております。

〒781-5101 高知市布師田3992-2 中小企業会館 4階
TEL 088-845-8870 FAX 088-845-2434
URL <https://www.kbiz.or.jp> E-mail info@kbiz.or.jp

